

CVP レポート サーバー データベース パージ失敗を解決して下さい

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ほとんどの一般的なシナリオを解決して下さい](#)

[パスワード ミスマッチ](#)

[パスワード ミスマッチ ソリューション](#)

[エラーのパージ失敗: 失敗する保存された手順 sp_frag_mgt を実行します: -310](#)

[エラー -310 のためのパージ失敗ソリューション](#)

[失敗されるエラーのパージ失敗保存された手順 sp_frag_mgt を実行します: -206](#)

[エラー -206 のためのパージ失敗ソリューション](#)

[確認](#)

概要

この資料は Cisco Unified Customer Voice Portal (CVP) レポート サーバー データベース パージ失敗 (緊急事態および毎夜のパージ両方) を解決するためにステップを記述したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- CVP Server
- Cisco Unified Intelligent Contact Management (ICM)
- Cisco Unified Contact Center Enterprise (UCCE)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP レポート サーバー 8.5 およびより高い
- CVP Operations Console (OAMP)

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

ほとんどの一般的なシナリオを解決して下さい

パスワード ミスマッチ

CVP_dbadmin を確認すれば CVP_dbuser パスワードは同じです。この [CSCuw90124](#) のための問題があります。

これはレポート サーバーの CVP ログで確認することができます。

Logsnippets:

```
During night purge time 12:00 midnight as per the configuration done on OAMPserver, Purge started.
```

```
10.XX.XX.XX: Sep 20 2017 00:00:02.986 +0400: %CVP_10_5_RPT-1-REPORTING_ALERT_MESSAGE: Starting purge handler operation. [id:4024]
```

```
But failed due to password issue,
```

```
10.XX.XX.XX: Sep 20 2017 00:00:06.012 +0400: %CVP_10_5_RPT-3-REPORTING_DB_ERROR_MSG: (Database: cvp_data) Failed running the stored procedure sp_get_space(): java.sql.SQLException: Incorrect password or user com.informix.asf.IfzASFRemoteException: cvp_dbadmin@XX.com is not known on the database server.: java.sql.SQLException: Incorrect password or user com.informix.asf.IfzASFRemoteException: cvp_dbadmin@XX.com is not known on the database server. (DBScript.testPurgeNeeded) java.sql.SQLException: Incorrect password or user com.informix.asf.IfzASFRemoteException: cvp_dbadmin@XX.com is not known on the database server.
```

パスワード ミスマッチ ソリューション

CVP_dbadmin および CVP_dbuser のパスワードを変えて下さい:

ステップ 1 : Reporting Server とのリモート デスクトップ セッションを開きます。

ステップ 2. アドミニストレーター特権があるユーザとのサーバへのログイン。

ステップ 3 CVP レポート ユーザが、cvp_dbadmin、CVP レポート サーバーで cvp_dbuser 存在するように Informix して下さい。

ステップ 4. CVP レポート ユーザはローカルの管理者および Informix admin グループのメンバーである必要があります。

ステップ 5 CVP Reporting のユーザ アカウントがロックアウトされていないことを確認します。

ステップ 6 Windows パスワードが変更される前にレポート サーバーを停止されます CVP OAMP コンソールによって確認して下さい。レポート サーバーが停止しない場合、ユーザ名/パスワードの不良 組み合わせと接続し、cvp_dbuser アカウントをロックするように試みます。

ステップ 7 サービスによってが CVP レポート サーバーのステータスの実行にある Cisco CVP リソースマネージャを確認して下さい。

ステップ 8. コンピュータマネジメントに > ローカル ユーザ ナビゲートし、> Users をグループ化します。

ステップ 9 : informix、cvp_dbadmin、cvp_dbuser のパスワードを仮パスワードにリセットしま

す。

ステップ 10. OAMP コンソール Web ページを入力し、**デバイス管理に > 統一された CVP レポート サーバー** ナビゲートして下さい。CVP レポート サーバー設定を選択し、書き換えて下さい。**Administration > 変更ユーザパスワード**を『Database』を選択して下さい。

ステップ 11.一時パスワードをステップ 9 から古いパスワードとして入力し、次に新しい常置パスワードを入力して下さい。

ステップ 12: アカウントをロックアウトされません Windows ローカル ユーザおよびグループを通して確認して下さい。

ステップ 13: CVP Reporting Server サービスを再起動します。

エラーの失敗を削除して下さい: 失敗する保存された手順 sp_frag_mgt を実行します: -310

これはレポート サーバーの CVP ログで確認することができます。

Logsnippet:

```
10.XX.XX.XX 00:00:03.683 -0500: %CVP_8_5_RPT-3-REPORTING_DB_ERROR_MSG: (Database: cvp_data)
runDBPurge -- Failed running the stored procedure sp_frag_mgt: -310
10.XX.XX.XX 00:00:03.683 -0500: %CVP_8_5_RPT-1-REPORTING_DB_PURGE_FAILED:The Reporting
(Database: cvp_data) database purge operation failed [Duration: 0.50
```

エラー -310 のためのページ失敗ソリューション

この失敗を解決するために、レポート サーバーの **cvp_data** 表のがらくた表を廃棄して下さい。

エラー コード -310 はことを既に存在 する表 (またはむしろフラグメント化して下さい) 示します。ページが動作するとき、フラグメントは**がらくたと**指名される表に取り外され、それから表は廃棄されます。ページがうまく働かないので、**Informix.junk 表**はページ プロセスの終わりに削除されません。この問題を解決するために、表を手動で削除し、これらのステップを踏む必要があります:

ステップ 1.**開始するべき移動 > Informix すべての Programs > ダイナミック サーバ > cvp_db_<dbname>。**

ステップ 2. **dbaccess** を入力して下さい。

ステップ 3 メニューから、『**Connection**』を選択して下さい。

ステップ 4 データベースサーバのリストから、適切な 1 つを選択して下さい。この場合、**cvp_data**。

ステップ 5 **ユーザネーム** >> プロンプトでは、ログイン名を入力して下さい。

ステップ 6 **パスワード** >> プロンプトでは、ユーザパスワードを入力して下さい。

ステップ 7.使用するために **cvp_data** であるデータベースを選択して下さい。

ステップ 8.メイン メニューに戻るために『**Exit**』を選択して下さい。

ステップ 9.クエリを実行するために **照会言語**を選択して下さい。

ステップ 10.クエリ **ドロップする表がらくた**を実行して下さい。

表が削除されれば、ページはうまく働きます。

失敗されるエラーの失敗を削除し保存された手順 sp_frag_mgt を実行します: -206

これはレポート サーバーの CVP ログで確認することができます。

Logsnippet:

```
10.XX.XX.XX Nov 04 2017 00:02:55.489 +0400: %CVP_10_5_RPT-3-REPORTING_DB_ERROR_MSG: (Database: cvp_data) runDBPurge -- Failed running the stored procedure sp_frag_mgt: -206 [id:4012]
10:XX.XX.XX Nov 04 2017 00:02:55.520 +0400: %CVP_10_5_RPT-1-REPORTING_DB_PURGE_FAILED: The Reporting (Database: cvp_data) database purge operation failed [Duration: 89.72 seconds]. [id:4006]
```

エラー -206 のためのページ失敗ソリューション

保存された手順がなぜ失敗したか理解するために出力される Frag_mgt をチェックして下さい。それが purgelist が理由でそうなったものである場合、cvpadmin 表から purgelist を削除して下さい。

注意： SQL フラグメント ログに関しては、これらのステップを踏むために間、低い音声トラフィック期間で確認します。

ステップ 1: dbaccess ツール ログインを cvp_data データベースに使用し、コール sp_frag_mgt (「D」) を実行して下さい;。出力は CVPHOME \ログ\ Frag_mgt.out に書かれます

ステップ 2.それががらくた purgelist がスタックした原因だったかどうか確認して下さい。

ログ 断片:

```
evaluates to alter fragment on table vxmlelement detach partition sys_p5962 junk
EXECUTE IMMEDIATE alter fragment on table vxmlelement detach partition sys_p5962 junk
;
exception : looking for handler
SQL error = -626 ISAM error = -106 error string = = ""
```

ステップ 3.クエリを『*』を選択します ciscoadmin から実行して下さい: cvp_admin 表に対する purgelist purgelist をチェックするため。

注意： これらのステップを踏むために間、低い音声トラフィック期間で確認します。

ステップ 4. purgelist を削除するために、レポート サーバーの CVP サービス Cisco CVP CallServer を停止して下さい。

ステップ 5. purgelist からのコマンド dbaccess ciscoadmin 「削除 action='D' 実行しなさい;」

ステップ 6.手動でうまく実行するかどうか確認するためにプロシージャ sp_frag_mgt を実行して下さい。

ステップ 7.レポート サーバーの CVP サービス Cisco CVP CallServer を開始して下さい。

確認

エラー 206 のページ失敗が解決した後、ページがきちんとはたっているかどうか確かめることは次の手順に従います:

ステップ 1: cvp ログをチェックでき、ページ失敗メッセージを確認しないために存在して下さい。

ステップ 2. データベース領域、使用、アベイラビリティ、先祖などをチェックするためにコマンド **onstat -d** 実行して下さい

ステップ 3. 設定されるそれぞれ表のための保持期間に基づいて CVP OAMP ページ設定のデータ利用可能の確認するために **cvp_data** 表に対してこれらのクエリを実行して下さい。

```
select min(dbdatetime) from vxmlelement
select min(dbdatetime) from call
```